

地球温暖化防止に 努めよう

シリーズ

家庭でできる温暖化防止②

運転中の空ぶかしや急発進・急加速など
無駄なガソリンの消費を
抑えるための方法について
考えてみました。



取り組み1 空ぶかしはしない！

空ぶかしは燃料を無駄に使い、窒素酸化物などの大気汚染物質をまき散らすだけで、メリットはありません。空ぶかし10回で約60cc(約0.6^{リットル}走行分の)燃料が無駄になります。年1,000回の空ぶかしを

なくすことで経費(ガソリン120円/ℓ)にして約700円の節約にもなります。

あなたは、無意識のうちに空ぶかしをしていますか！

取り組み2

急発進・急加速をしない！

アクセルを大きく踏み込んだときにはエンジンに高い負担がかかり、燃焼温度も高くなり、窒素酸化物の排出量が増加します。急発進10回で約170cc(約2^{リットル}走行分の)燃料が無駄になります。年1,000回の急発進・急加速をなくすことで経費(ガソリン120円/ℓ)にして約2,000円の節約にもなります。

ゆとりを持った運転で、心と体に負担をかけないよう心掛けましょう！

取り組み3

不要な荷物を載せない

不要な荷物を積んで走るとはエンジンに余分な負担をかけることになります。

この結果、燃料を多く使い、窒素酸化物の排出量も増えることとなります。

●このコーナーは、環境課が担当します。内線304

考えよう。共生時代①

シリーズ

Bom Dia



国際交流員の皆さん
後列左から セイジ・オオサトさん
マルセロ・ワタナベさん
前列 ノリコ・クボタさん

外国人人口は4,731人で、市の総人口(52,855人)の8.9%です。県内では最高の割合で、全国でも高い位置にあります。その中で、ブラジル人が3,294人(外国人人口の69.6%)と圧倒的に多いです。

このシリーズでは、偶数月に外国人住民で最も多いブラジル人の文化、習慣などを紹介していきます。日本と異なる部分が多いため、勘違いや意志の疎通などが図れない場合があります。そのため、日本人、外国人、お互いにそれぞれの違いを認識し、共に歩んで行く必要があると思います。

シリーズを担当するのは市役所に勤務するブラジル出身ノリコ・クボタ、マルセロ・ワタナベとセイジ・オオサトです。このシリーズを通じて日本とブラジルの相違点を理解し、在住外国人との「共生」に役立てていただけたら、幸いです。

(人口は5月1日現在です)